令和7(2025)年度 事業報告書

（2025年4月1日～2026年3月31日）

学校法人神戸滋慶学園

Ⅰ. 法人の概要

1. 建学の精神・教育理念

● 建学の理念

「実学教育」

スペシャリストの時代に迅速に対応し、即戦力となる知識・技術の習得を目指す教育

「人間教育」

心豊かな人格を形成するため、自立した社会人としての人間力（身構え・気構え・心構え）を身につける教育

「国際教育」

日本人としてのアイデンティティーを明確に持ち、価値観や文化の違いを尊重して、より広い視野でものを見ることができるように真の国際的感性を養う教育

● 運営の価値基準・・・4 つの信頼

全ての学校の業務は、「在校生・保護者からの信頼」「業界からの信頼」「高等学校からの信頼」「地域からの信頼」の獲得を目指している。

2. 学校法人の沿革

平成4(1992)年 学校法人神戸滋慶学園 認可
平成4(1992)年 神戸医療福祉専門学校須磨校 開校
平成6(1994)年 神戸医療福祉専門学校中央校 開校
平成9(1997)年 神戸医療福祉専門学校三田校 開校
平成15(2003)年 神戸製菓専門学校 開校
平成25(2013)年 神戸医療福祉専門学校須磨校 廃校
平成30(2018)年 姫路医療専門学校 開校

3. 設置する学校

校名	所在地
(1) 神戸医療福祉専門学校中央校	兵庫県神戸市中央区多聞通2丁目6番3号
(2) 神戸医療福祉専門学校三田校	兵庫県三田市福島501番85
(3) 神戸製菓専門学校	兵庫県神戸市中央区加納町2丁目5番1号
(4) 姫路医療専門学校	兵庫県姫路市駅前町27番2号

4. 設置する学校・学部・学科の学生数の状況 (令和7年(2025)年5月1日現在)

(1) 神戸医療福祉専門学校中央校

設置学科	修業年限	1年生		2年生		3年生		4年生		合計		入学定員充足率
		入学定員	実員	定員	実員	定員	実員	定員	実員	総定員	実員	
介護福祉士科	昼 2年制	40	27	40	23					80	50	67.5%
鍼灸科	昼 3年制	30	25	30	29	30	21			90	75	83.3%
精神保健福祉士科	夜 1年制	40	26							40	26	65.0%
社会福祉士科	夜 1年制	40	24							40	24	60.0%
計		150	102	70	52	30	21	0	0	250	175	68.0%

(2) 神戸医療福祉専門学校中央校三田校

設置学科	修業年限	1年生		2年生		3年生		4年生		合計		入学定員充足率
		入学定員	実員	定員	実員	定員	実員	定員	実員	総定員	実員	
理学療法士科	昼 4年制	40	40	40	39	40	35	40	31	160	145	100.0%
作業療法士科	昼 4年制	40	23	40	15	40	16	40	15	160	69	57.5%
言語聴覚士科	昼 4年制	40	24	40	16	40	18	40	23	160	81	60.0%
救急救命士科	昼 2年制	50	46	50	39					100	85	92.0%
義肢装具士科4年制	昼 4年制	30	28	30	25	30	22	30	19	120	94	93.3%
計		200	161	200	134	150	91	150	88	700	474	80.5%

(3)神戸製菓専門学校

設置学科	修業年限	1年生		2年生		3年生		4年生		合計		入学定員充足率
		入学定員	実員	定員	実員	定員	実員	定員	実員	総定員	実員	
製菓本科	昼 2年制	80	61	80	71					160	132	76.3%

スイーツ科	昼　1年制	40	22							40	22	55.0%
製パン本科	昼　1年制	40	28							40	28	70.0%
お菓子専科	夜　1年制	40	30							40	30	75.0%
計		200	141	80	71	0	0	0	0	280	212	70.5%

(4)姫路医療専門学校

設置学科	修業年限	1年生		2年生		3年生		4年生		合計		入学定員充足率
		入学定員	実員	定員	実員	定員	実員	定員	実員	総定員	実員	
作業療法士科	昼　3年制	40	39	40	38	40	35			120	112	97.5%
言語聴覚士科	昼　3年制	40	30	40	27	40	28			120	85	75.0%
臨床工学技士科	昼　3年制	40	24	40	20	40	20			120	64	60.0%
救急救命士科	昼　3年制	40	25	40	6					80	31	62.5%
計		160	118	160	91	120	83	0	0	440	292	73.8%

5. 役員の概要(令和7年(2025)年5月1日現在)

●理事定員数　6名～8名　定数　8名

区分	氏名	常勤･非常勤の別	就任年月日
理事長	田仲　豊徳	非常勤	2023年3月25日
理事	斎藤　満知子	常勤	2023年3月25日
理事	川口　延子	常勤	2023年3月25日
理事	才田　宗二	常勤	2025年5月30日
理事	浮舟　邦彦	非常勤	2025年5月30日
理事	大野　昭弘	非常勤	2023年3月25日

●監事定員数　2名～3名　定数　2名

監事	寺田　宗功	非常勤	2023年3月25日
監事	髙橋　友深	非常勤	2023年3月25日

6. 評議員の概要

●定員数　7名～10名　定数　8名

区分	氏名	区分	氏名
評議員	秀島　博規	評議員	浮舟　雅信
評議員	井上　尚子	評議員	森田　眞佐樹
評議員	渡部　匡朗	評議員	古谷　圭司
評議員	藤森　和佐	評議員	
評議員	中津　亮	評議員	

7. 教職員の概要(令和7年5月1日現在)

校名	常勤教員数	非常勤教員数	職員数
(1) 神戸医療福祉専門学校中央校	16	71	3
(2) 神戸医療福祉専門学校三田校	33	102	6
(3)神戸製菓専門学校	10	14	4
(4)姫路医療専門学校	21	108	4

8. 法人のガバナンス体制の概要

学校法人神戸滋慶学園は、私立学校法及び寄附行為に基づき、理事会を法人の業務執行及び意思決定機関として位置付け、評議員会を重要事項に関する諮問機関として運営している。
また、監事を設置し、法人の業務及び財産の状況について監査を行う体制を整備している。

9. 子法人の概要

名称	概要
一般財団法人滋慶教育科学研究所	各業界や組織において求められる人材の育成に必要な講習会･研修会の企画･運営 各業界･組織で必要とされる知識･スキルレベルの測定のための検定試験等の実施 教育機関における学会の企画運営及び教育技法･指導法の開発･指導 法人の目的を達成するために必要な教材の制作･発行 会報誌及び学会誌の発行

医療法人社団青山会	診療所並びに介護老人保健施設の経営 科学的でかつ適正な医療及び要介護者に対する看護を普及することを目的 医学的管理下の介護及び必要な医療等の普及することを目的
医療法人社団慶心会	診療所の経営 科学的でかつ適正な医療及び要介護者に対する看護を普及することを目的
医療法人社団慶生会	診療所の経営 科学的でかつ適正な医療及び要介護者に対する看護を普及することを目的

Ⅱ. 事業の概要（2026年3月31日現在）

1. 主な事業の目的

校名	目的(学則の目的)
(1) 神戸医療福祉専門学校中央校	医療専門課程並びに教育・社会福祉専門課程を設置し、そのもとで社会に役立つはり師、きゅう師、介護福祉士、精神保健福祉士、社会福祉士としての知識及び技能を教育することを目的とする。
(2) 神戸医療福祉専門学校中央校三田校	医療専門課程を設置し、そのもとで役立つ義肢装具士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、救急救命士としての知識及び技能を教育することを目的とする。
(3)神戸製菓専門学校	衛生専門課程を設置し、製菓衛生士法に基づき社会に役立つ製菓技術者、製菓衛生士、製パン技術者としての知識及び技能を教育することを目的とする。
(4)姫路医療専門学校	医療専門課程を設置し、そのもとで社会に役立つ作業療法士、言語聴覚士、臨床工学技士、救急救命士としての知識及び技能を教育することを目的とする。

2. 主な事業の実施状況・成果

学生募集状況、中途退学防止への取組、就職活動の結果については、昨年報告書記載のとおりであり、就職率はいずれの学校においても概ね良好な結果を維持している。

(1)学生募集・中途退学防止・就職活動の成果

校名	学生募集		中途退学率	就職率	就職完了月
	入学者数	定員充足率			
(1) 神戸医療福祉専門学校中央校	117	78.0%	4.0%	100.0%	4月
(2) 神戸医療福祉専門学校三田校	179	99.0%	4.2%	100.0%	4月
(3)神戸製菓専門学校	126	63.0%	3.8%	100.0%	4月
(4)姫路医療専門学校	76	54.0%	3.8%	100.0%	4月
合計	498				

(2)職業実践専門課程に関する委員会開催状況

校名	学校関係者評価委員会	教育課程編成委員会	
(1) 神戸医療福祉専門学校中央校	2025年6月21日	2025年6月21日	2026年2月21日
(2) 神戸医療福祉専門学校三田校	2025年6月7日	2025年6月7日	2026年2月7日
(3)神戸製菓専門学校	2025年6月21日	2025年6月21日	2026年2月21日
(4)姫路医療専門学校	2025年6月14日	2025年6月14日	2026年2月14日

(3)教育活動トピックス

(1) 神戸医療福祉専門学校中央校

神戸マラソン選手サポーター活動(鍼灸科)

(2) 神戸医療福祉専門学校中央校三田校

タイ・マヒドン大学生実習受け入れ(義肢装具士科4年制)

(3)神戸製菓専門学校

DERICAFE　企画商品販売(製パン本科)

(4)姫路医療専門学校

専門実践教育訓練講座指定(作業療法士科・臨床工学技士科)

(4)収益事業・付随事業の概要

1)対個人サービス業(一般飲食店、はり師・きゅう師施術所) ①ザニテーツハウスPOSC(2003年5月開設) 所在地:兵庫県神戸市中央区加納町2丁目5番1号　　事業内容:鍼灸院 ②飲食業　Café Bene(2003年5月開設) 所在地:兵庫県神戸市中央区加納町2丁目5番1号　　事業内容:洋菓子・パン・焼き菓子製造販売 **2)小売業(靴小売業)** ①ザニテーツハウスPOSC(2003年5月開設) 所在地:兵庫県神戸市中央区加納町2丁目5番1号　　事業内容:健康靴・オーダー靴製造販売 **3)その他の製造業(義肢装具製造業)** ①ザニテーツハウスPOSC(2003年5月開設) 所在地:兵庫県神戸市中央区加納町2丁目5番1号　　事業内容:健康靴・オーダー靴製造販売 **4)貸家業** ①レストラン 所在地:兵庫県神戸市中央区加納町2丁目5番1号　地下1階 ②　フィットネスジム 所在地:兵庫県姫路市駅前町27ー3　土地のみ ③生きがい開発棟 所在地:兵庫県姫路市駅前町27ー3　土地のみ

3. 教職員の質向上

各段階に応じたFD研修、マネジメント研修、スキルアップ研修等、滋慶教育科学研究所主催の研修会には積極的に参加している。労務管理については、毎月勤怠システムで各局長が確認し特に問題なく実施している。

4. 教育環境及び施設・設備の整備状況

職場安全衛生委員会が発足されており、定期的に確認を実施している。

5. 教育の質保証に関する取組

職業実践専門課程に基づく教育課程編成委員会、学校関係者評価委員会を開催し、外部有識者の意見を教育改善に反映させている。

6. 重要な契約・事業上の重要事項

当該事業年度において、法人の運営に重大な影響を及ぼす新規契約又は事業上の重要な変更はない。

Ⅲ. ガバナンス・コンプライアンス体制

1. 内部統制の基本方針と運用状況

法人は、業務の適正性及び効率性を確保するため、寄附行為に基づいた諸規程を整備し、適切な内部統制体制を構築している。

2. コンプライアンス体制

法令及び学内規程の遵守を徹底するため、教職員への周知及び必要な研修を実施している。

3. リスク管理体制

教育、財務、情報管理等に係るリスクを把握し、問題発生時には理事会等で協議のうえ適切に対応する体制を整えている。

4. 公益通報・相談体制の概要

教職員等からの相談や通報に対応する窓口を設け、通報者の不利益取扱いを防止するよう配慮している。
特に、ハラスメントについては通報窓口を医療法人社団慶生会に、公益通報窓口は一般社団法人滋慶学園グループにそれぞれ委託している。

Ⅳ. 関係者取引・利益相反への対応

1. 関連当事者との取引の状況

関連当事者との取引については、法令及び内部規程に基づき適正に管理している。

2. 役員等との取引・利益相反管理

役員等との取引が生じる場合には、理事会において適切に審議し、利益相反の防止に努めている。

3. 役員報酬等の考え方

役員報酬については、寄附行為及び関連規程並びに役員報酬規程に基づき、適正な水準で支給している。

Ⅴ. 財務の概要

本法人の当該事業年度における計算関係書類等は、学校法人会計基準に従い作成され、適正に会計監査を受けている。
詳細については、計算関係書類等及び会計監査報告書を参照されたい。

1. 決算の概要

貸借対照表及び収支計算書の概要は昨年報告書記載のとおり。

2. 経年比較・財務分析

資金収支計算書、事業活動収支計算書等は昨年報告書記載のとおり。

3. 財務上の課題と今後の見通し

安定的な教育活動を継続するため、収支バランスの確保に努めている。

4. 継続法人としての財務的健全性に関する認識

法人は、現時点において教育活動を継続するための財務的基盤を有していると認識している。

Ⅵ. 監査の状況

1. 監事監査の概要

監事は、業務及び財産の状況について監査を実施している。

2. 会計監査人の概要

会計監査人は、寄附行為にしたがい下記の通り選任している。
いざなみ監査法人
大阪府大阪市北区梅田1丁目1番3号 大阪駅前第3ビル23階

Ⅶ. 決算日後に生じた重要な事象

当該事業年度終了後、法人の運営に重大な影響を及ぼす事象は発生していない。

Ⅷ. 附属明細書

1. 重要な契約の一覧

該当なし

2. 係争事件等の状況

該当なし

3. その他必要な補足事項

該当なし

以上